

みんなで作る園の未来!

保育ナビ

2026
FEBRUARY
〈11/12〉

2

みんながワクワクする
多機能化と地域共創
地域の新しい
拠点づくり (前編)

“こどもまんなか”の食育
命を感じる食育活動

「人格」を軸とした
人事と研修
エリクソン ティール組織
東洋思想から学ぶ
人格を軸とした
キャリアパス

特集

おさえておきたい!

これからの子どもの育ちを 考える際の2つのポイント

～「こども誰でも通園制度」&「小学校との学びの連続性」～

2025年度は、保育と子どものおもしろさを伝え、
ワクワクを広げる内容を読者にお届けします。

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。



園長



主任



学年リーダー



マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。



マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。右の二次元コードからアクセスしてください。



マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

『保育ナビ』は、編集委員がサポートしています。

秋田喜代美（学習院大学）

浅井幸子（東京大学）

大方美香（大阪総合保育大学）

大豆生田啓友（玉川大学）

北野幸子（神戸大学大学院）

古賀松香（京都教育大学）

境 愛一郎（共立女子大学）

汐見稔幸（東京大学名誉教授）

砂上史子（千葉大学）

松井剛太（香川大学）

無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）

矢藤誠慈郎（和洋女子大学）

敬称略 50音順

編集委員から読者の皆さんへ応援メッセージを
月替わりで配信します。詳しくはP.32へ！

『保育ナビ』が伝えたいこと

すべての子どもの育ちを支え、 新たな気づきと喜びへ

「こどもまんなか社会」実現のため、本号はこれからの子どもの育ちを考える際の2つのポイントに注目しました。「こども誰でも通園制度」の本格実施を見据え、「すべての子どもを受け入れる」というメッセージを深掘りし、また、保育現場の強みを活かし、幼保小の学びの連続性を創る「架け橋」を徹底解説。幼児教育・保育の専門性が未来を創る鍵となっていく、そんな展望が広がります。

——『保育ナビ』編集部

巻頭

リ フレーベルのこたば 汐見稔幸 小西貴士

特集

園 おさえておきたい！

これからの子どもの育ちを
考える際の2つのポイント

～「こども誰でも通園制度」と「小学校との学びの連続性」～…4



対談

園 保育・教育の未来を探る
～周辺領域との交わりから第21回 「分けない豊かさ」から始まる
まちと園が創るこれからの社会…20汐見稔幸（東京大学名誉教授）
松本理寿輝（まちの保育園・まちのこども園代表）

注目テーマ

保育実践から読み解く
「安心と挑戦の循環」…26
砂上史子リ 園の未来を握るリスペクト型マネジメント
みんながワクワクする
多機能化と地域共創…28
大豆生田啓友園 小学1年生の授業を拝見！
～学びを通してつながりを理解する…30
無藤 隆 片岡麻梨子聞くと視野が広がる
編集委員からのメッセージ…32
無藤 隆

保育内容

3・4・5歳児
遊びが育つ保育
保育者の役割…34
田代幸代0・1・2歳児
保育者のセンス・オブ・ワンダー
子どもの心を豊かに育むために…36
井桁容子保育が変わると計画が変わる
やってみよう！子どもの姿ベースの
指導計画…38
大豆生田啓友 佐伯絵美

主 “こどもまんなか”の食育

—諏訪保育園が考える食育活動—…42
島本一男保育環境 知らないと損！子どもが育つ
自然遊びが楽しい
園庭づくりのススメ…46

ささき隊長

Information…49

人材育成

リ 「人格」を軸とした人事と研修
エリクソン ティール組織
東洋思想から学ぶ…50
久保健太職員みんなで考える
保護者支援10のポイント…54
浅井拓久也

国の動き

主 国の動きを読む！
研究者の目2025…56
矢藤誠慈郎

園経営

持続可能な未来を切り拓く
変化する時代の経営戦略…58
桑戸真二 柳 修二主 予防のために知っておきたい
事故につながる
12のポイント…60
脇 貴志

エッセイ

保育ナビエッセイ
保育とわたし…62
平田香奈子

／ おさえておきたい！ ／

これからの子どもの育ちを 考える際の2つのポイント

～「こども誰でも通園制度」&「小学校との学びの連続性」～

「こどもまんなか社会」の実現に向けた様々な取り組みが進んでいます。

今回、そのなかでも保育関係者の関心が高い、

2026年4月から本格実施される「こども誰でも通園制度」と、
改訂が近づく3要領・指針の中で重要なポイントになることが
予想される「小学校との学びの連続性」に焦点を当て、
それぞれの専門家からお話をうかがいます。

イラスト／すみもとななみ

Contents

【こども誰でも通園制度】

制度開始直前、
「こども誰でも通園制度」を
整理する〈座談会〉… P.5

こども家庭庁：栗原正明 課長
出口貴史 課長補佐
馬場耕一郎 教育・保育専門官
秋田喜代美（学習院大学 教授・東京大学名誉教授）

【小学校との学びの連続性】

変わる小学校の学びと
これからの幼児教育 … P.11

奈須正裕（上智大学 教授）

【保育者の声から Pick up】

就学を見据えた保育をする
なかで見えること … P.16



【こども誰でも通園制度】

制度開始直前、 「こども誰でも通園制度」を整理する

2026年4月から本格実施される「こども誰でも通園制度」。ここでは、制度概要とあわせ、意義や目的などをざっくりばらにお話しいただきました。制度全体のイメージがふくらみます。

※対談は、2025年10月2日にオンラインで開催

子どもの育ちを 社会が保障する制度

秋田…「こども誰でも通園制度」が2026年4月から全国で本格実施されます。この制度設計にかかわっていることも家庭庁の3人の方に、お話をうかがっていきます。その意義や目的からお願います。

栗原…この制度は、保育の必要性、つまり保護者の視点からその要件を決めるのではなく、子どものために通園を保障する制度です。子どもの育ちを保障していくために、保護者の状況にかかわらず良質な成育環境を用意し、家庭だけではなく社会全

体で支えていく新しい制度です。

6か月から2歳（満3歳に到達するまで）の子どもが通園します。通園先では保育のプロが育ちを支えるとともに、ほかの子どもたちもいて、遊具で遊べるなど様々な環境がある。そういう中での新たな経験が、子どもの育ちに大きなプラスになる。これが大きな目的の1つであり、意義だと思っています。家庭や保護者にとっても、プロである保育者からアドバイスをもらえ、より良い子育てにつなげていけると思います。

この制度を使う権利が生じる

栗原…この制度については、初見の

登壇者



こども家庭庁

馬場耕一郎 教育・保育専門官

栗原正明 課長

出口貴史 課長補佐



秋田喜代美

（学習院大学 教授・東京大学名誉教授）

プロフィール

秋田喜代美（あきた きよみ）／学習院大学 文学部 教授。東京大学名誉教授。こども家庭庁 こども家庭審議会 会長、こども誰でも通園制度の本格実施に向けた検討会 座長。『研修アドバイザーと共に創る新しい園内研修のかたち』（フレーベル館）など著書多数。

こども家庭庁：

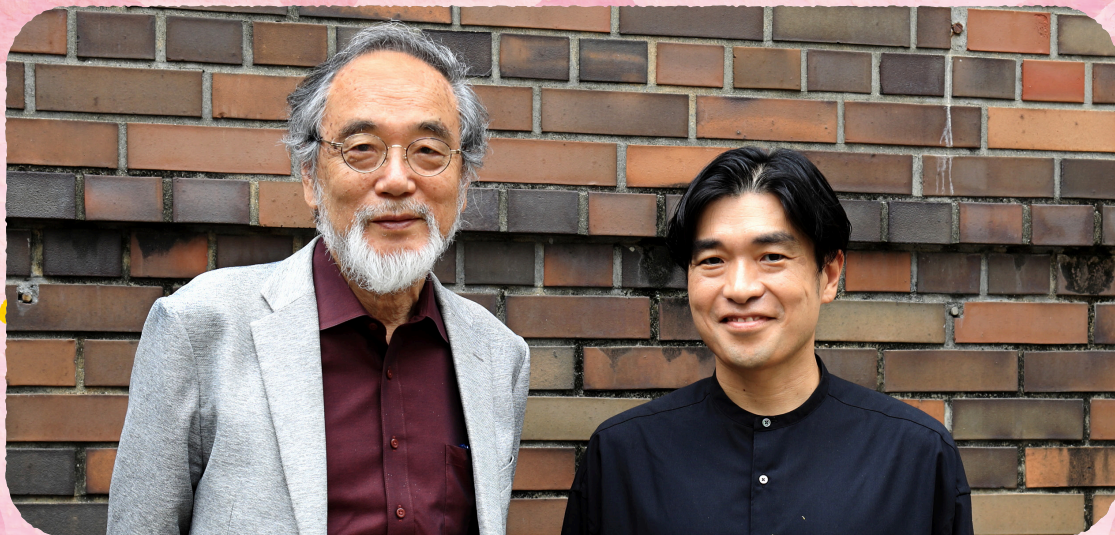
栗原正明（くりはら まさあき）／成育局 保育政策課 課長。

出口貴史（でぐち たかし）／成育局 保育政策課 課長補佐。

馬場耕一郎（ばば こういちろう）／教育・保育専門官。

構成／渡辺 悟



**汐見稔幸** (しおみ としゆき)

1947年、大阪府生まれ。東京大学名誉教授。白梅学園大学名誉学長。保育者の学びの場「ぐうたら村」村長。東京大学教育学部卒、同大学院博士課程修了。主な監修に『0・1・2歳児からのていねいな保育』（全3巻、フレーベル館）、共編著に『保育のグランドデザインを描く』（ミネルヴァ書房）ほか多数。

松本理寿輝 (まつもと とりずき)

1980年生まれ。一橋大学商学部卒業。博報堂、企業経営を経て、2011年、「まちの保育園 小竹向原」創設。現在、都内6拠点で「まちの保育園・こども園」を運営。レッジョ・エミリア・アプローチの日本組織「JIREA」代表、「まちの研究所株式会社」（保育・教育・まちづくりのデザインコンサルティング会社）の代表も務める。

汐見稔幸
監修

保育・教育の未来を探る

～周辺領域との交わりから

第21回

「分けない豊かさ」から始まる まちと園が創るこれからの社会

保育は、人間を育てるといふ、ある意味でたいへん難しい仕事です。人間と文化のあり方、そして人間と社会のあり方の根本に立ち返って保育という営みを考えることなしに、本当の保育は見えてこないのではないかと、私は考えています。

今年度は従来の保育や教育にとらわれず、新しい視点で保育に携わっている方々にお話をうかがい、未来の保育・教育につながるヒントを探っていきます。今回は、2011年に創設した1園から現在6拠点に拡げ、保育を「社会をつくる営み」と捉え、地域と共にまちづくりを進める松本理寿輝さんに登場いただきます。

(汐見稔幸)

対談は2025年10月3日に実施



あなたの園では、本当に子どもの姿を捉えられていますか。子ども一人ひとりに目を向け、そこにある意味を問うことが、「子どもの姿ベース」の保育となり計画となります。ある園の実践例を紹介しつつ、子どもの姿ベースの指導計画の進め方を解説します。

保育が変わると計画が変わる

子どもの 姿ベースの 指導計画

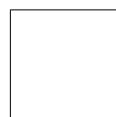
やってみよう！

監修・執筆 大豆生田啓友（玉川大学）
執筆 佐伯絵美（合同会社子どもベース）
協力／益田ひかり保育所（島根県）

第11回 テーマ

環境図等を用いた記録

今月のポイントを
動画で確認しよう



保育の仕事の中にある記録や計画などの「書類作成」は、しばしば「時間がかる・楽しくない仕事」の部類に分けられることがあります。でもそれは、子どもや保育へ向ける眼差しの変化によって、大きく変わる可能性もあるのです。

事例紹介園の益田ひかり保育所も、保育の考え方や子どもへの向き合い方の変化によって、記録の内容や、記録に向き合う姿勢が変化してきました。保育がワクワクし始めたタイミングから、「このエピソード、保護者にも伝えたいよね」「この記録は、子どもたちにとっても大事だよね」……と想いが溢れ出したのです。その結果、それまで「書かなくてはいけない」ものだった書類は「伝えたい」「残したい」気持ちから生み出される書類へと変化していきました。

子どもや保育への眼差しが変わると
記録に向き合う姿勢も変わる



イラスト／すぎやまえみこ



佐伯 絵美
（合同会社
子どもベース代表）

プロフィール●佐伯絵美（さえき えみ）／合同会社子どもベース代表。約20年間、保育現場で実践を重ねた後、同社を立ち上げる。様々な保育現場とつながりながら、各園での子どもの声・思いを大切にされた保育の実践を共に目指す。



見直しの ステップ

ステップ1 書類に違和感を覚えたら変える

ポイント

- ・できるところから一歩ずつ
- ・「あれ? なんだか違和感」が動き出すタイミングを知らせるサインかも

どのタイミングで変える?

子ども主体の保育への転換を願うあまり、あれもこれも一度に変えようとするが無理が生じます。だからこそ、園の状況に合わせて、できそうなことから少しずつ始めることが大事です。軌道に乗り始めると「あれ? この書類にももっと子どもの声を反映したいね」と思うようになるはず。新たな一歩を踏み出すには、このように「変えなくなっちゃった」時が、良いタイミングです。

ステップ2 違和感が保育を動かす鍵になる

ポイント

- ・違和感の根っこを探ることが大事
- ・具体的に「モヤモヤ」をおしゃべりする機会をつくる
- ・立場に関係なく話せる雰囲気をつくっておく

そのモヤモヤの原因は何?

なんとなく感じた「違和感」や「モヤモヤ」は、時に言葉で表すことが難しいこともあります。でも、そこがクリアにならないと、課題解決は難しいもの。それまで当たり前にやってきたことの「どこ」に違和感があるのか、「なに」にモヤモヤしたものを感じているのか、できるだけ具体的に言葉にできる場、職員が話せる場をもてると良いでしょう。

ステップ3 子どもも記録や計画を見られるように

ポイント

- ・子どもも保育のつくり手である
- ・子どもと一緒に記録や計画を作成するのも可
- ・記録を子どもも大人も見えるところに掲示する

子どもと共有するには?

子どもの声を大事にしなが保育をするということは、子どもが保育の参加者でありつくり手でもあるということです。記録や計画を子どもと共有することはむしろ当たり前のことかもしれません。「子どもと一緒に日々をつくっていく」ために、子どもとの対話の記録を保育室内に残したり、活動の写真を掲示したりして、見える化することも大切です。

保育ウェブ型計画から、様々な記録・計画への広がり ～環境図を作る～

下の記録を見てください。3・

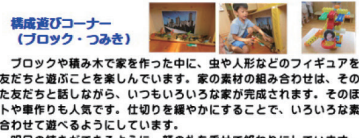
4・5歳児クラスの保育室の環境図です。保育の見直しをするうちに作り始めた記録です。保育者一人ひとりが子どもの声を手掛かりに環境を作り始めたことで、どのコーナーにも「子どもの姿」が反映されるようになり、こうした新たな記録が生まれました。

一見、作成するのに手間と時間がかかりそうな図ですが、子どもの姿の見取りや保育者の意図が明確であれば、さほど時間はかかりません。筆者がこの園を訪れた時は、保育者の方々がこうした環境図を見せながら、子どものことや、そこから考えた自分たちの予想をいきいきと語ってくれました。保育環境について整理する際に作成・活用するのはもちろん、子どもの姿の振り返りや、クラス外の保育者との対話のツールにもなります。

**積成遊びコーナー
(ブロック・積み木)**


ブロックや積み木で家を作った中に、虫や人形などのフィギュアを動かして友だちと遊ぶことを楽しんでいます。家の素材の組み合わせは、その時集まった友だちと話しながら、いつもいろいろな家が完成されます。そのほかロボットや車作りも人気です。仕切りを緩やかにすることで、いろいろな素材を組み合わせて遊べるようにしています。

明日の続きができるように、顔の札を張って終わりにしています。




レゴ・ラキューコーナー

はち、へび、とんぼなどを作っていたので、作ったものを飛ばしたり、動かしたり、最後は断れるように段ボールで箱を作った。子どもの作るものに合わせて、背景を張っていきけるようにする。




ままごとコーナー

製作コーナーでお店屋さんごっこが盛り上がりすぎてきたので、ままごとでも食べ物を作ってやりとりをしたり、食べてもらえるものを作ることを楽しめるように、作ることでできる環境を整え中。いらなくなったタコ焼き器、ホットプレートが欲しいと呼びかけています。いずれは、製作コーナーのお店屋さんごっこが、ここに入るかもしれません。




絵本コーナー (読みの場)

絵本を少人数で見たり、ゆっくり1人でくつろぐスペース。図鑑を置いて調べものができるようにしている。




粘土コーナー

少人数で作品を作り、作ったもので一緒に遊んでいる。じっくりと集中して遊ぶ姿から、壁に向けてスペースを作っている。



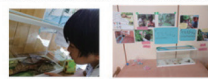
お店屋さんごっこ

廃材で作った魚釣り遊びが「これ、お祭りみたい!!」と言って始まったお店屋さんごっこ。お家の方と置換りに行ったり、お店の数も増え、だんだんと賑わって来なくなりました。どんな素材があったら良いか子どもと話しながら、1から作っています。今は、やりとりを楽しむ姿も多くなってきました。



かたちゃん (生き物コーナー)

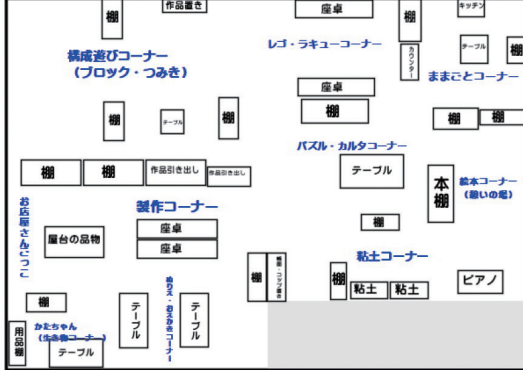
実物をじっくりと見たり、調べたり深めたり、予想したことが本当に起こっているか見ることができ場所。



製作コーナー


ばらはイメージしたものを形にしようという素材、素材を使って作りたい。きくは、そのばらの姿を見て真似したい。すみれは、ハサミや色鉛筆などを使っていたという思いから、それが実現できるように環境を整えています。

作製中や完成したものは自分の作品棚や飾り棚に飾るようにしています。飾ってもうったり、サークルタイムで紹介することで、自信が繋がったり、みんなで遊びの幅が広がっています。



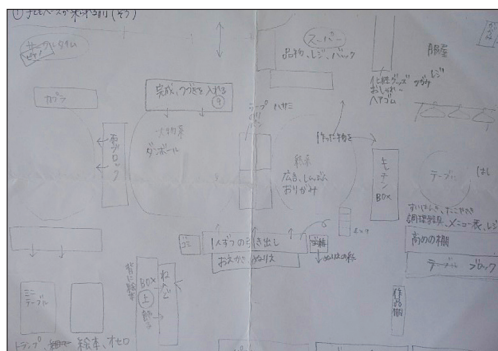
バスル・カルタコーナー

友だちと一緒に関わり遊ぶことを楽しんでいる。異年齢でも関わり遊ぶ姿から、一緒に遊ぶカルタも出している。



益田ひかり保育所の環境図。
各コーナーで見られた子ども
の姿を文章と写真で記録
しています。

手書きバージョンの環境図。
環境の見直しをする際に、
子どもの姿を語り合い、書
いたり消したりをくり返しな
がら作成しています。



やってみよう！

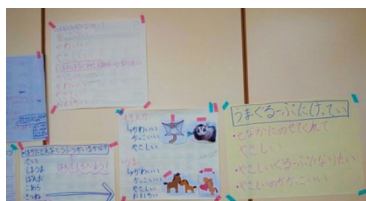
子どもとも共有するための記録・計画 ～保育室内に掲示～

・形式を変えてみたくなった書類はありますが、保育室に掲示したい写真や活動の記録はありますか

保育の見直しに取り組み出して2年、保育者が子どもに「あなたはどうしたい？」と聞くことが増えてきました。例えば「先生、これ作りたい！」「という子どもに」「どうして作りたいと思ったの？」「どんなふうになりたいか教えてくれる？」等、丁寧にそれまでの過程や想いを聞きます。そしてそれは、言葉を話さない乳児でも同じです。表情やしぐさから「その人の想い」を知ろうと、意識を向けるようになったのです。

その頃から、保育室のあちこちに写真や子どもとの話し合いの記録、子どもから出たアイデアの一覧などを掲示するようになりました。それらは、子どもと一緒に日々をつくる上で大切な、記録であり、計画であると言えるでしょう。保育者が「保育は子どもと共につくるもの」と意識したことで、子どもも保育のつくり手となったのです。

4月号 はじめに
5月号 保育の振り返りと保育環境の見直し
6月号 子どもの姿を語り合う

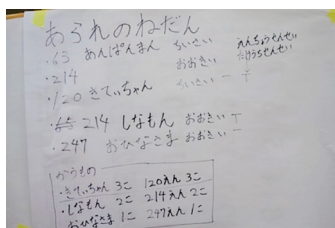


次年度のクラス名を決める話し合いの記録。モモンガ、ライオン、ウサギ、ゾウ、キリン、トラなど、子どもたちのアイデアを一覧にするだけでなく、なぜ、その動物が良いと思ったのかも記録。こうした記録で意見を整理しながら話し合いを重ねました。

子どもの声を聞くことがおもしろいと語る保育者。保育中、熱心に子どもの想いに耳を傾けています。



7月号 保育ウェブを作る
8月号 子どもの姿を記録する
9月号 保育が変わり始めた時の再考



ひなまつり企画の計画と記録。自分たちでひなまつりを企画し、スーパーで調べたひなあられの値段を掲示し、この記録をもとにお金がどれくらい必要か、いつ買い物に行くかを考えました。

実際に買い物に行った時の様子や、準備の様子、当日の様子を写真で掲示。保護者にも見てもらうほか、子ども自身が自分のやったことの振り返りにも活用。



記録や計画がワクワクしないのはなぜでしょうね。ホントはとってもワクワクするものなのに。今回のキーワードは「違和感」や「モヤモヤ」。違和感やモヤモヤの背後には、きっと「(こうやら) ねば」「(こう書く・させる) べき」など「ねば・べき」があるのではないのでしょうか？「ねば・べき」を脱却し、「子どもの興味・関心や、声を聴いてやってみよう」「私の〇〇したいをやってみよう」と思えると、きっと保育にも、記録にも計画にも、だれかに伝えたいワクワクが生まれてくるのでしょうか。

プロフィール●大豆生田啓友（おおまめうだ ひろとも）／玉川大学教育学部教授。日本保育学会副会長、こども環境学会副会長。こども家庭庁「こども家庭審議会」委員および「幼児期までのこどもの育ち部会」部会長、文部科学省「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」委員。著書に「子どもの姿ベースの指導計画シリーズ」（フレーベル館）ほか、多数。

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

公式サイトや SNS で保育最新情報をチェック!

『保育ナビ』は公式サイト や SNS でも様々な情報を配信しています。
より早く、より詳しい情報のためにぜひともチェックしてみてください。

公式サイト



YouTube



Facebook



Instagram



保育ナビ

フレーベル館セミナー事務局からのお知らせ

フレーベル館 保育セミナー

LIVEセミナーのご案内

(各セミナー開催日の2週間後より、14日間の見逃し配信つき)

2026年度の
保育セミナー
ラインナップも
えうご期待!

教材研究

子どもの主体的な表現を支えるために
～身近な素材の教材研究・環境づくりの工夫～

LIVE 開催日時:

2026年2月4日(水) 13:15～14:30

見逃し配信:

2026年2月18日(水)～3月3日(火) 予定

●講師 池田純子 先生 (敬愛短期大学准教授)



教材研究

音と音楽に関わる表現を見る、育てる
～感じる・心が動く・そして文化へ～

LIVE 開催日時:

2026年2月18日(水) 13:15～14:30

見逃し配信:

2026年3月4日(水)～3月17日(火) 予定

●講師 今川恭子 先生 (聖心女子大学教授)



オンデマンドセミナーのご案内

(1申込で園内の職員みなさまがご視聴いただけます! 視聴期間はご希望の月の1か月間です)

保育セミナーの
詳細はこちらから!

2025年度配信開始のコンテンツ!

子どもの育ち

子どもの可能性を広げる保育 ～安心と挑戦の「循環」～

●講師 秋田喜代美 先生 (学習院大学教授)

発達支援

インクルーシブなクラス運営 ～子どもも保育者も一緒にいきいきと～

●講師 松井剛太 先生 (香川大学准教授)

マネジメント

こども誰でも通園制度が投げかける課題 ～問われる保育と子育て支援の境界領域～

●講師 吉田正幸 先生 (株式会社保育システム研究所代表取締役)

幼児教育

安心と挑戦の循環を園から学校へ ～幼保小の接続・架け橋を通してわくわくする園と学校を実現する～

●講師 無藤隆 先生 (白梅学園大学名誉教授) 他

保護者支援・ 子育て支援

いまどきの保護者対応 ～背景の理解と支援の本質～

●講師 倉石哲也 先生 (武庫川女子大学教授)

教材研究

絵かきうたが育てるもの ～絵かきうたで保育とあそびをひろげよう～

●講師 宮地明子 先生 (幼児造形指導・プランナー)

絵本から広がる運動遊び 第1回 幼児編 第2回 乳児編

●講師 堀内亮輔 先生 (東京女子体育大学講師)

社会人基礎

＜保育者1年目の新人研修に最適!＞

社会人としての振る舞い、イロハのイ

社会人として身につけるべき振る舞いについて
わかりやすくお話しします!

●講師 浅井拓久也 先生 (鎌倉女子大学准教授)

信頼される保育者になるために

保育者としての心構え、子どもや保護者への
向き合い方についてお話しします!

●講師 和田美香 先生 (東京家政学院大学教授)

※フレーベル館は幼稚園・認定こども園様について、処遇改善等加算に係る研修の実施主体認定を全国で受けております。ご案内しているすべてのセミナーが対象です(2025年10月時点)。

※配信時期、テーマ、内容、受講料、講師は予定です。一部変更となる可能性がございます。最新の情報や申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。(二次元コードからアクセス、もしくは「フレーベル館セミナー」で検索してください)

※保育士等キャリアアップ研修については、「一般社団法人フレーベル子育てラボ」にて「株式会社フレーベル館」の研修システムを使用した研修を開始しております。詳細につきましては、右記の二次元コードからアクセスしてください。



【問い合わせ先】 株式会社フレーベル館 セミナー事務局 メール: seminar@froebel-kan.co.jp 電話: 03-5395-6637